

総合戦略等の策定イメージ

1 尼崎版人口ビジョンの策定イメージ

国の「長期ビジョン」を勘案しつつ、人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示する。対象期間は国の長期ビジョン(2060年)を基本とする。

(1) 人口の現状分析

ア. 人口動向分析

総人口や年齢3区分別人口、出生・死亡数、転出入数等の時系列の状況分析
性別・年齢階級別の地域間人口移動の状況分析
産業別の就業状況や雇用状況など人口動向に関連する事項の分析

イ. 将来人口の推計と分析

出生率や移動率などについて仮定値を変えた総人口推計の比較
将来人口に及ぼす自然増減、社会増減の影響度の分析

ウ. 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析

現状の傾向のまま人口が推移した場合の、将来の地域住民の生活や地域経済、本市行政に与える影響の分析

民間利便施設の立地、公共施設の維持管理等への影響、生産年齢人口の減による財政への影響



(2) 人口の将来展望

ア. 将来展望に必要な調査分析(アンケート調査)

住民の結婚・出産等に関する意識や希望
大学等卒業後の地元就職の現状や希望

イ. 目指すべき将来の展望

人口減少克服に向けた現状と課題を整理し、人口に関して目指すべき将来の方向を提示

ウ. 人口の将来展望

将来展望の期間は長期ビジョンの期間(2060年)を基本とする

単純推計に加え政策の効果による影響後の展望を示す(例:生産年齢人口割合の増等)



人口の将来を展望

総人口や年齢3区分別等の将来展望を行う

2 尼崎版総合戦略の策定イメージ

尼崎版総合戦略は、尼崎版人口ビジョン及び国の総合戦略等を踏まえ、尼崎の実情に応じた今後5か年（平成27～31年度）の施策の基本的方向や具体的施策を示していく。

基本的な考え方としては、総合戦略は、総合計画の「主要取組項目」を柱としながら、現役世代の定住促進等に向けたより具体的な政策パッケージを数値目標とともに示していく予定としている。

(1) 政策分野及び基本目標の設定

(2) 構すべき施策に関する基本的方向の設定

国の総合戦略が定める政策分野を勘案して、尼崎版総合戦略の政策分野を定めるとともに、政策分野ごとの5年後の基本目標を設定する。

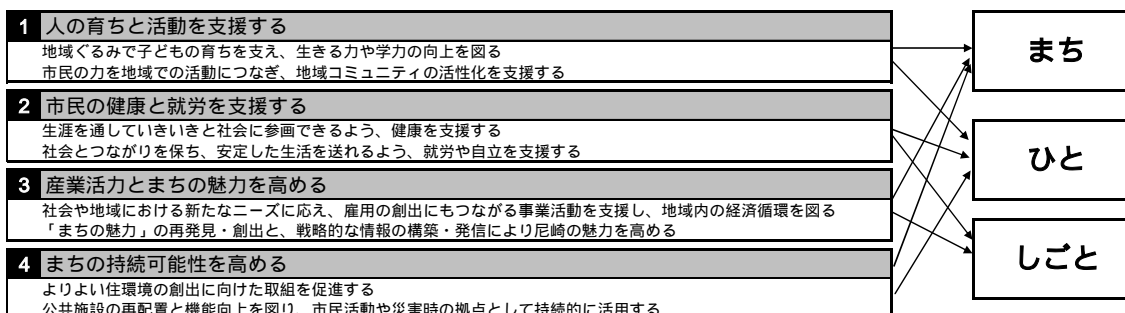
政策分野及び基本目標（数値目標） 基本的方向の設定に関しては、総合計画の「主要取組項目」を基本としながら、「まち・ひと・しごと」に再編成していく。

基本目標（数値目標）に関しては、政策分野ごとに新たな指標を設定していく。

【参考】

総合計画（主要取組項目（P77・78））

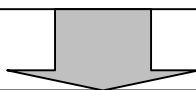
総合戦略



(3) 具体的な施策と客観的な指標

(2) で定める施策の基本的方向に沿って、国の総合戦略における政策パッケージを参考に政策分野ごとに具体的な施策を検討する。併せて、施策ごとに、客観的な重要業績評価指標（KPI）を設定する。

重要業績指標に関しては、総合計画及び施策評価における指標に加え、現在示せていない指標については新たに設定していく。



(4) 客観的な効果検証の実施（検討課題）

総合戦略は、その進捗を基本目標に係る数値目標や具体的な施策に係る重要業績評価指標（KPI）の達成度により検証し、改善することが求められており、その際にはできる限り外部の有識者等を含む検証機関を設置することを求められている。

外部の会議体の設置については総合戦略の策定段階においても同様に推奨されていることから、今後、検討していく。

3 総合戦略のイメージ

国により示されている地方版総合戦略のイメージは下記のとおりです。

